



あなたの成長を妨げてしまうもの



3学期が始まって1週間が過ぎました。この1週間で教科によっては冬休み明けテストが行われたところもあると思います。以前にも伝えた通り、3学期は大きな行事がなく、授業をはじめ、当たり前前の日常を大切にする姿勢が問われる学期です。皆さんは、日を追うごとに1つずつ成長していると思いますが、人によって成長速度は異なります。では、反対に皆さんの成長を妨げてしまう要因とは一体何でしょうか？ その1つの要因になっているのが「面倒くさい」という気持ちだと思います。「勉強するのが面倒くさい」「提出物を出すのが面倒くさい」「時間を守るのが面倒くさい」など、「面倒くさい」という行為を繰り返すことで、残念ながら成長速度が遅くなってしまいます。成長に向かうために必要なのが、「面倒くさいことでもやる！」という姿勢そのものです。たしかに、大人でも面倒くさいと思うことは多々あります。しかし、大事な場面で「面倒くさい」と言って、やるべきことをやらないと、取り返しのつかない失敗をしてしまうこともあるのです。ニュースなど見てみると、世の中で起こっている事故^{おこた}というのは大半が「面倒くさい」をきっかけに起こっています。例えば、安全確認を怠ったために重大な事故につながってしまった、というケースはいくつかありますね。また、他の視点で見ると、先生はラーメンが好きで、休日に人気のラーメン屋さんに行くことがあります。人気のお店は、テーブルがきれいに拭かれ、卓上の調味料も整理整頓されており、ラーメンを作るのにも、一手間かけておいしいラーメンが提供されています。それは、面倒くさがることなく、毎回手間暇をかけているからこそ、いつもたくさんのお客さんが入っているのです。つまり、面倒くさいという姿勢を続けてしまうと、成長速度も遅くなり、反対に面倒くさいことでも手間をかけて取り組むことで、成長速度も速くなるのです。日常生活の中で、「面倒くさい」を理由に行動を起こさないことが多いのであれば、この3学期、1つでも「面倒くさい」を抜け出していくことを意識してもらいたいと思います。そうすることで、今のあなたよりもっと大きく成長することでしょう。

最後に、作家・演出家^{こうかみしょうじ}の鴻上尚史さん（昨年度の『かわらばん』（2月22日第44号）で「友達って何だろう」というテーマを取り上げた時に紹介した人です）の著書『君はどう生きるか』の一部を紹介します。ぜひ読んでみて、これからの生活に活かしてみてください。

「めんどくさい」と「普通」

君が「考える」ことをジャマする二大強敵が「めんどくさい」と「普通」だ。「めんどくさい」は人を腐らせる。この言葉が口から出るたびに、君はゆっくりと腐っていく。びっくりした？ ぼくは人間がよりよく生きていくために必要なものは、「勇気」と「好奇心」だと思っている。「めんどくさい」は、「好奇心」を殺す。君を変えてくれるかもしれない「新しいもの」「素敵なもの」「見たこともないもの」と出会う機会を「めんどくさい」は奪うんだ。出かけるのはめんどくさい、人と話すのはめんどくさい、本を読むのはめんどくさい、身体を動かすのはめんどくさい、勉強するのはめんどくさい、片付けするのはめんどくさい、という生活を続けていたら、君は君のままで何も変わらない。周りの友だちは、いつも同じ君に退屈するだろう。いつも同じ話題で、新しいことが何もない君に会いたいとは思わなくなるだろう。だいいち、君が君自身に退屈するはずだ。思い切って行動してみること。そうすると、めんどくさいという気持ちは消えていきます。行動すれば、何かを得る。新しいことに会う。それが君を

変えるんだ。めんどくさいを超えて、行動したごほうびだ。

ぼくが、生まれて初めて一人旅をしたのは、中学3年生の夏休みでした。四国の愛媛県という所に住んでいたのですが、自分で計画して、一人で金沢と能登半島を1週間ほど回りました。出かける前は、正直、めんどくさいと思っていました。でも、駅の改札を抜けて、電車に乗った時から、ワクワクが始まりました。そして、一人だからこそ、いろんな人と出会いました。東京から来た一人旅の高校生と知り合って、校則についていろいろ聞きました。頭髪や服装が自由だという衝撃の事実、「そんな学校があるんだ！」と驚きました。その体験は、ぼくが高校生になった時に、生徒会長に立候補した時の公約につながりました。めんどくさいと感じたら、「とりあえずやってみよう！」と動いてみてください。きっと君の生活は変わります。

「普通」という言葉も、君が変わる可能性を奪います。「部活は好きなの？」「普通」、「映画は好きなの？」「普通」、「アニメは好きなの？」「普通」、「焼肉は好きなの？」「普通」と、何を聞かれても「普通」を連発する人がいます（「別に」という言い方も同じですね）。やってみれば分かりますが、「普通」と答えた瞬間に、思考と気持ちは止まります。何も考えず、何も感じないようになるのです。とりあえず相手をスルーして、自分も深く考えないようにするためには、とても便利な方法です。親に「学校はどうだった？」と聞かれて、答えるのがウザイ時に「普通」と言うでしょう。それは、「答えることは何もない」または「答えることがめんどくさい」ということだよ。親は毎日聞いてくるので、つい「普通」と言ってしまう。でも、めったに会わない大切な人とか、大好きな人に「学校はどう？どんなクラス？」と聞かれたら、きっと君はいろいろと話そうとするんじゃないかな。その時、「普通のクラス」と言ってしまうともったいないんだ。

『君はどう生きるか』（鴻上尚史 2024 年 講談社）

■来週の予定（1/20（月）～1/24（金））

月 日	組	1	2	3	4	5	6	備 考
1/20 （月）	A	総合	国語2	数学	体育	理科1	社会	生徒会朝礼
	B		美術	体育	英語	社会	数学	
	C		社会	体育	英語	国語2	数学	
1/21 （火）	A	英語	体育	社会	理科2	国語2	総合	あいさつ運動（始）
	B	体育	国語1	理科2	理科1	数学		
	C	社会	理科2	体育	国語2	数学		
1/22 （水）	A	理科1	英語	数学	国語1	道徳	職員会議 Challenge English Day	
	B	英語	理科1	国語2	社会			
	C	英語	社会	理科1	理科2			
1/23 （木）	A	美術	英語	体育	家庭	音楽	社会	
	B	英語	家庭	国語1	体育	数学	音楽	
	C	英語	美術	家庭	体育	数学	国語2	
1/24 （金）	A	技術	英語	数学	国語2	理科2	学活	あいさつ運動（終）
	B	英語	技術	国語2	理科2	社会		
	C	英語	国語2	技術	国語1	音楽		

※予定の変更等は、朝・終学活等で連絡します。_____は授業変更の箇所です。